

三交モータース商会・金森さん講話

ドローンの将来性など紹介



ドローンの将来性などについて語った金森さん（左奥）

第一学院・秋田キャンパスで「夢授業」

地域で活躍する人々による「夢授業」が、秋田市の第一学院高等学校秋田キャンパスで行われた。県内で自動車学校などを展開する三交モータース商会（秋田市）常務理事

の金森登志雄さん（53）が登場。同社が取り組む事業やドローン教習などについて話し、生徒22人が聴講した。5日に開催され、金森さんは自動車学校の事業について

紹介。入校者数は約30年前と比べて半減していたが、建設機械車の教習施設の設置やオンライン学科教習の実施、送迎バスの位置情報サービスの提供などで6割ほど回復したと話した。

ドローンの将来性について映像を見せながら説明し、高校生に基本操作を教える「ドローンスクール」を実施していることも紹介。「ドローンは今後、生活のさまざまな場面で活用される。ドローンを使ったことがある人とならない人は、大きな違いが出てくるだろう」と語った。

2年の佐藤逢夢さん（16）は「ドローンの活用によって、将来の街の動きは大きく変わるんだな」と話した。夢授業は13日にも別のテーマで行われた。生徒は2回の授業内容を基に、地域の課題を見つけて解決策などを探るプロジェクト型学習に取り組む。

（佐沢幸徳）